

長い脚は魅力的か？

進化心理学的観点からの考察

2014/9/10

第78回日本心理学会

企画シンポジウム: 魅力的に見える相貌とは？

発表者: 喜入暁 (s.kiire0518@gmail.com)

0. 全体の流れ

1. 身体魅力の規定因
2. 脚の魅力
3. 実験
4. まとめ

1. 身体的魅力の規定因

1-1. 様々な身体的特徴—女性

- **WHR** (waist-to-hip ratio; Singh, 1993)
 - 0.7が美しい
- **BMI** (Body-mass index; Tovée & Cornelissen, 2001)
 - 20前後が美しい
- **バストサイズ** (Guéguen, 2007; Swami & Tovée, 2013)
 - 研究によって不一致

1. 身体的魅力の規定因

1-1. 様々な身体的特徴—男性

□ WHR (Singh, 1995)

- 0.9が美しい

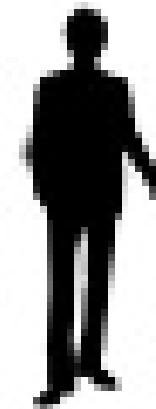
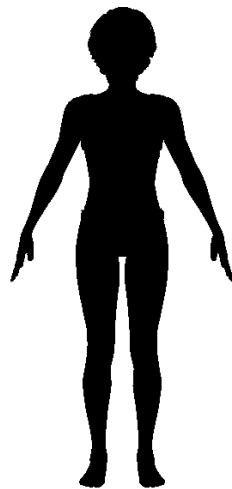
□ 筋肉 (Frederick & Haselton, 2007)

- 長期パートナー：平均程度が美しい
- 短期パートナー：平均よりマッチョが美しい

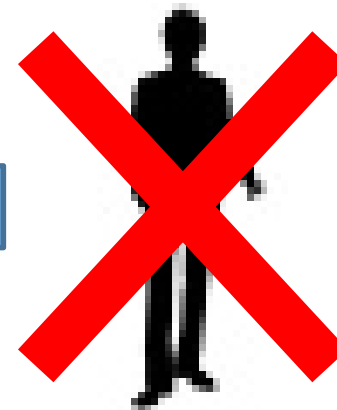
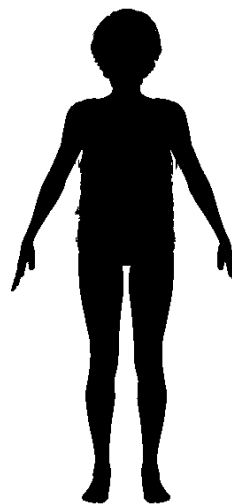
1. 身体的魅力の規定因

1-2. 何故その特徴は魅力的？

- 健康
- 高生殖能力



- 不健康
- 低生殖能力



2. 脚の魅力

2-1. 長い脚は魅力的？

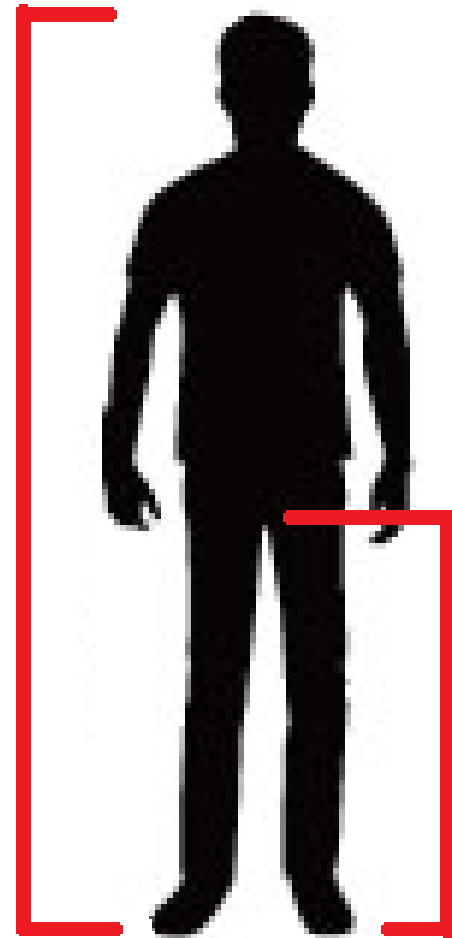
- 世間的に、長い脚は魅力的であるといわれることが多い。

- では、学術的には？

2. 脚の魅力

2-2. キーワード

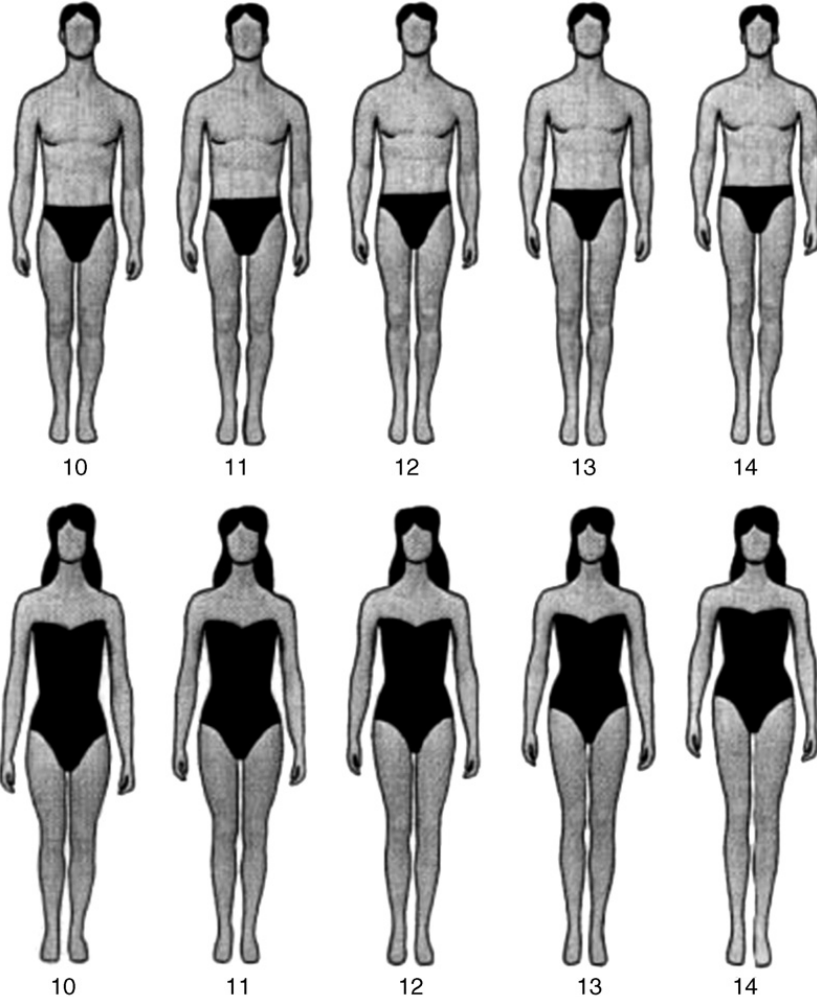
- LBR (leg-to-body ratio)
 - 脚-身体比率
 - 身長に対する股下の長さ
 - 脚の長さの指標



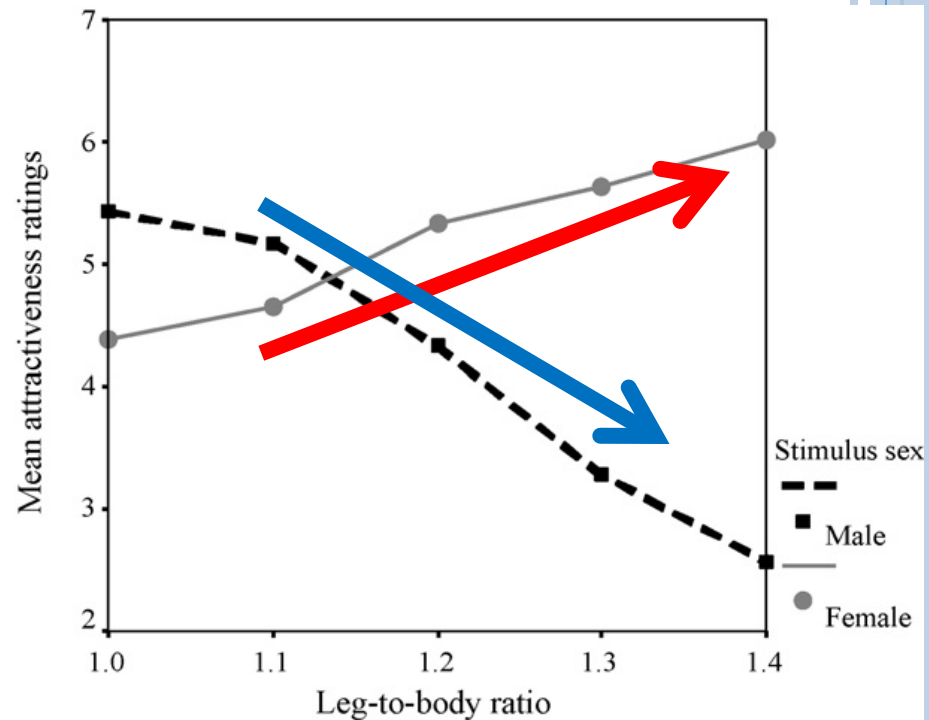
2. 脚の魅力

2-3. 先行研究

□ Swami et al. (2006)



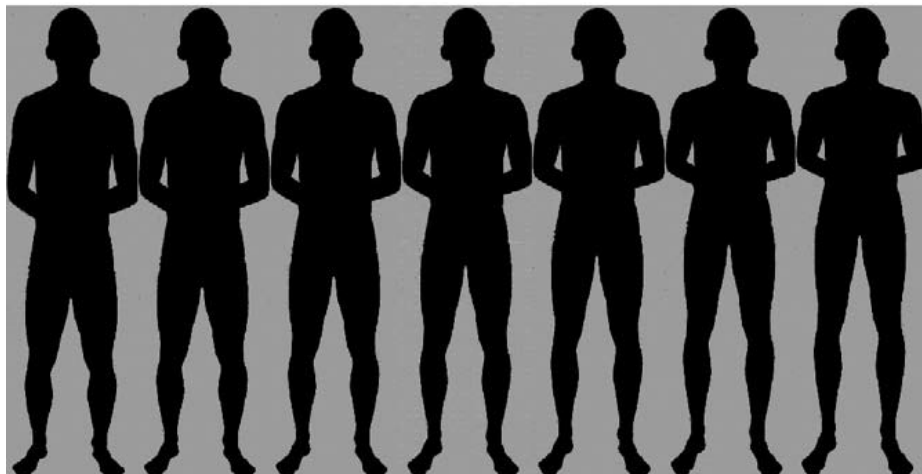
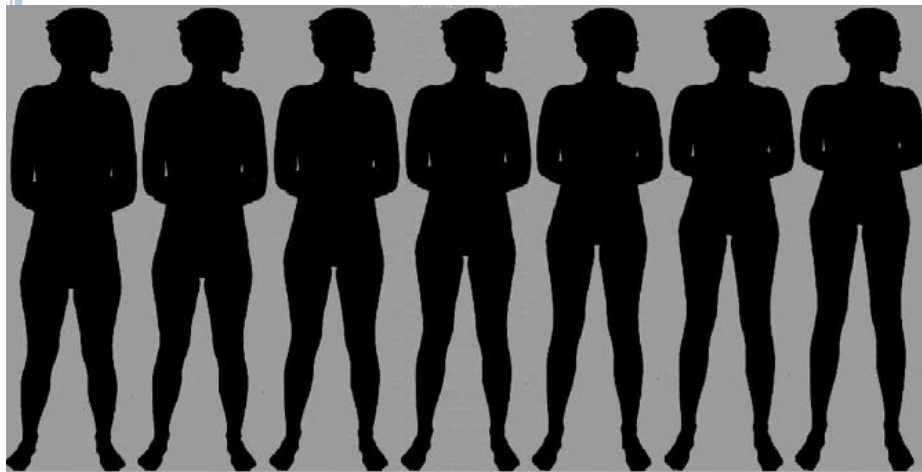
女性:長いほど魅力的
男性:短いほど魅力的



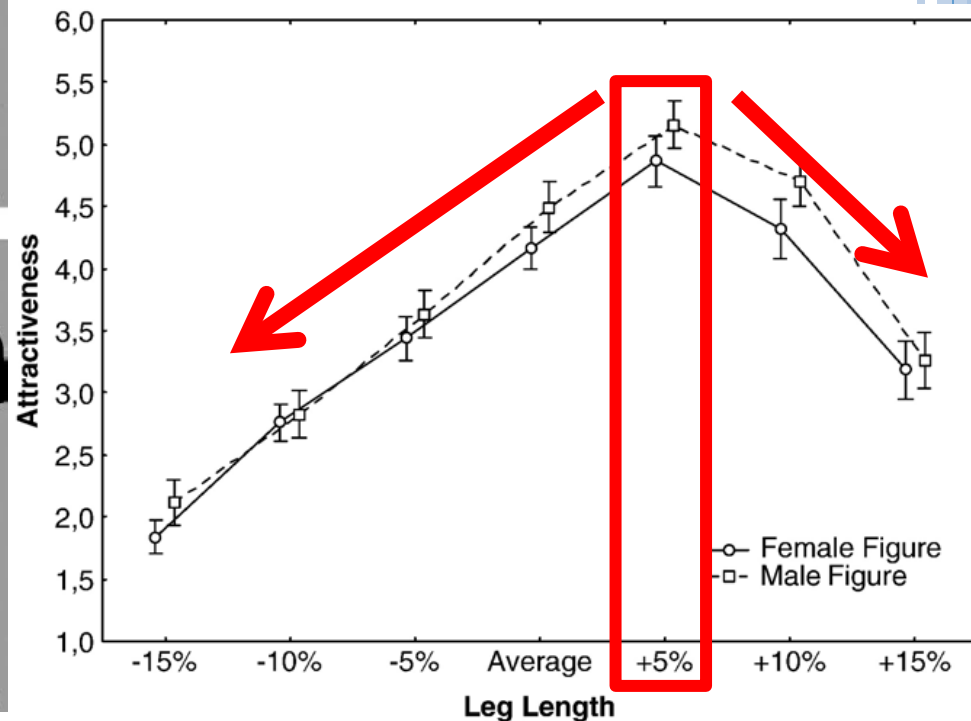
2. 脚の魅力

2-3. 先行研究

□ Sorokowski & Pawlowski (2008)



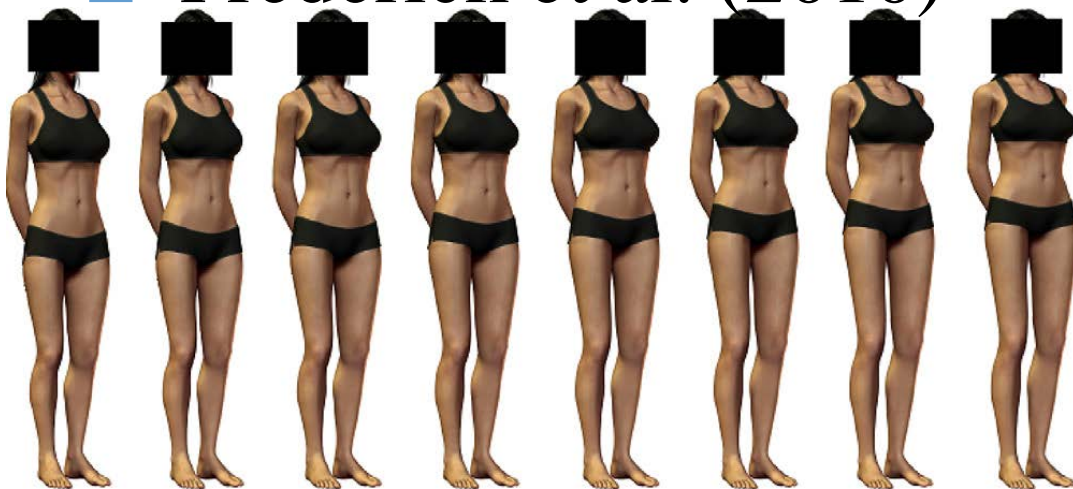
女性: 平均+5% 魅力的
男性: 平均+5%



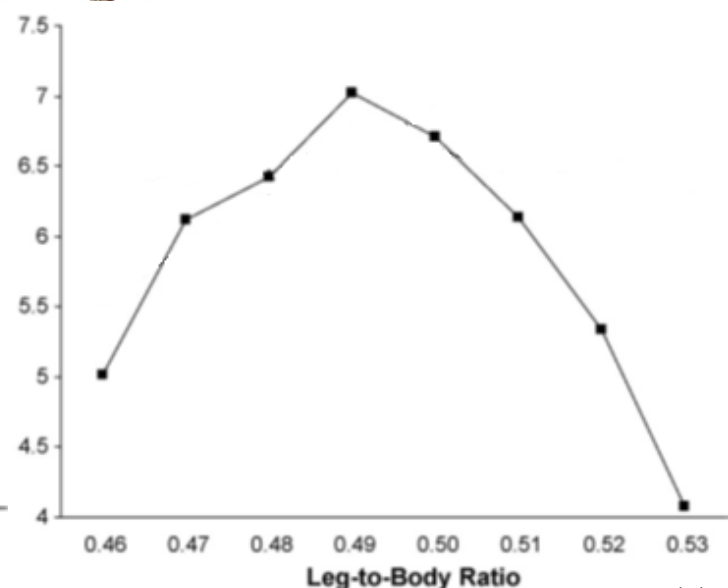
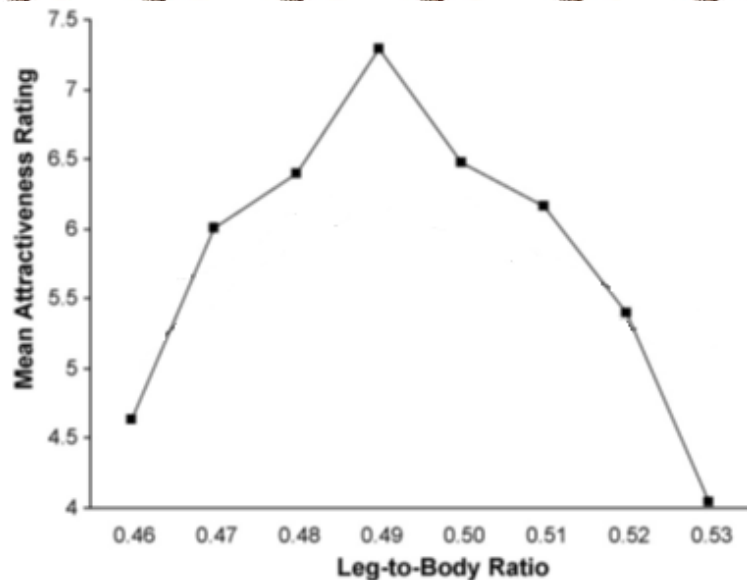
2. 脚の魅力

2-3. 先行研究

□ Frederick et al. (2010)



中程度が魅力的



2. 脚の魅力

2-4. 問題点

- 結果が一貫しない。
 - 刺激に依存した結果

- 刺激が現実的ではない。
 - 線画
 - シルエット

2. 脚の魅力

2-5. 進化的説明

- 脚は健康・生殖能力の指標となるか?
 - 幼少期の環境を反映 (Wadsworth et al. 2002)
 - エネルギー摂取量
 - 栄養状態
 - 病気リスク (Davey Smith et al., 2001; Kim et al., 2008)
 - 多産 (Fielding et al., 2008)
- 脚の魅力も進化心理学的に解釈可能

2. 脚の魅力

2-5. 進化的説明

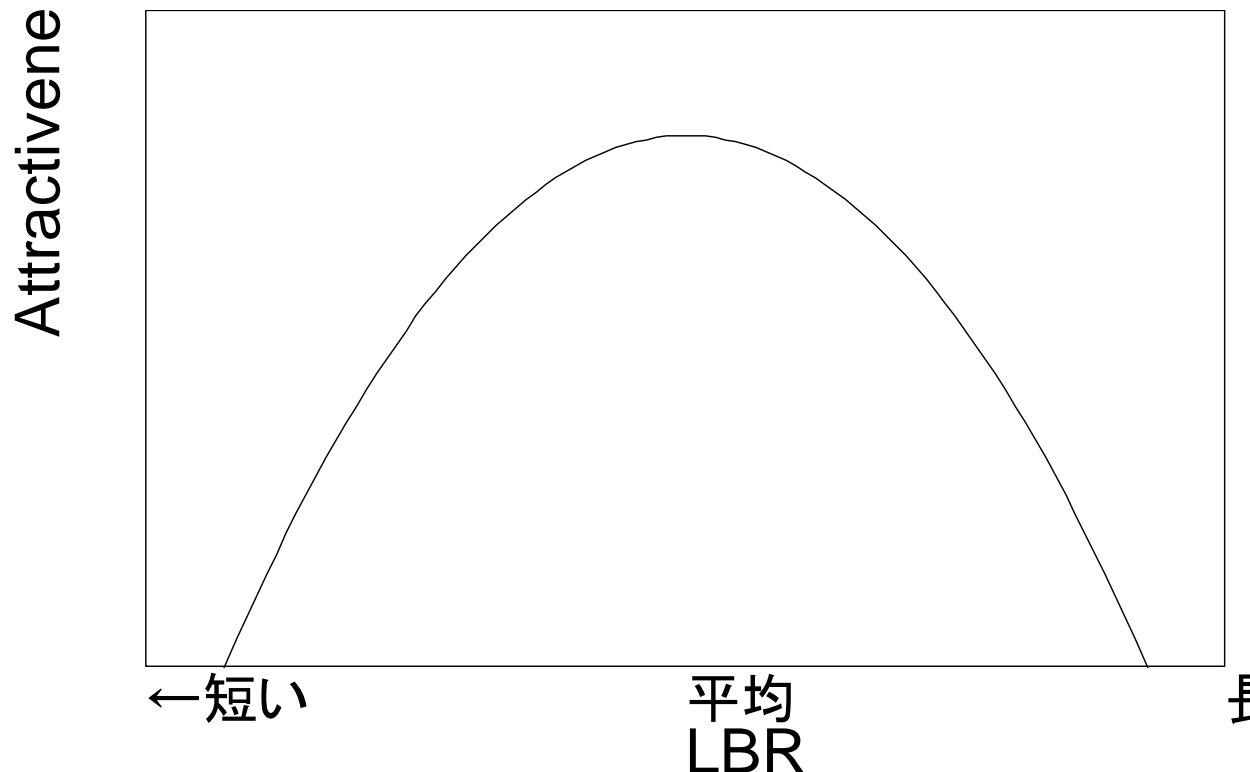
- 胴も長い方がいい (Wadsworth et al., 2002)
 - エネルギー摂取量
 - 肺機能
 - 病気リスク

- どちらかが逸脱するほど長いと、結局適応的でない→どっちも逸脱しない
- 平均的なLBRが最も適応的だろう。

2. 脚の魅力

2-6. 仮説

- →逸脱LBRではなく、平均LBRが最も魅力的であると判断されるだろう。
- 平均LBRを頂点とする逆U字型になる。



3. 実験

3-1. 方法

□ 参加者

- 法政大学学生80名（平均18.8歳 ± 1.05）

□ 刺激

- 男女それぞれLBRの異なる11パターン
- （全22刺激）

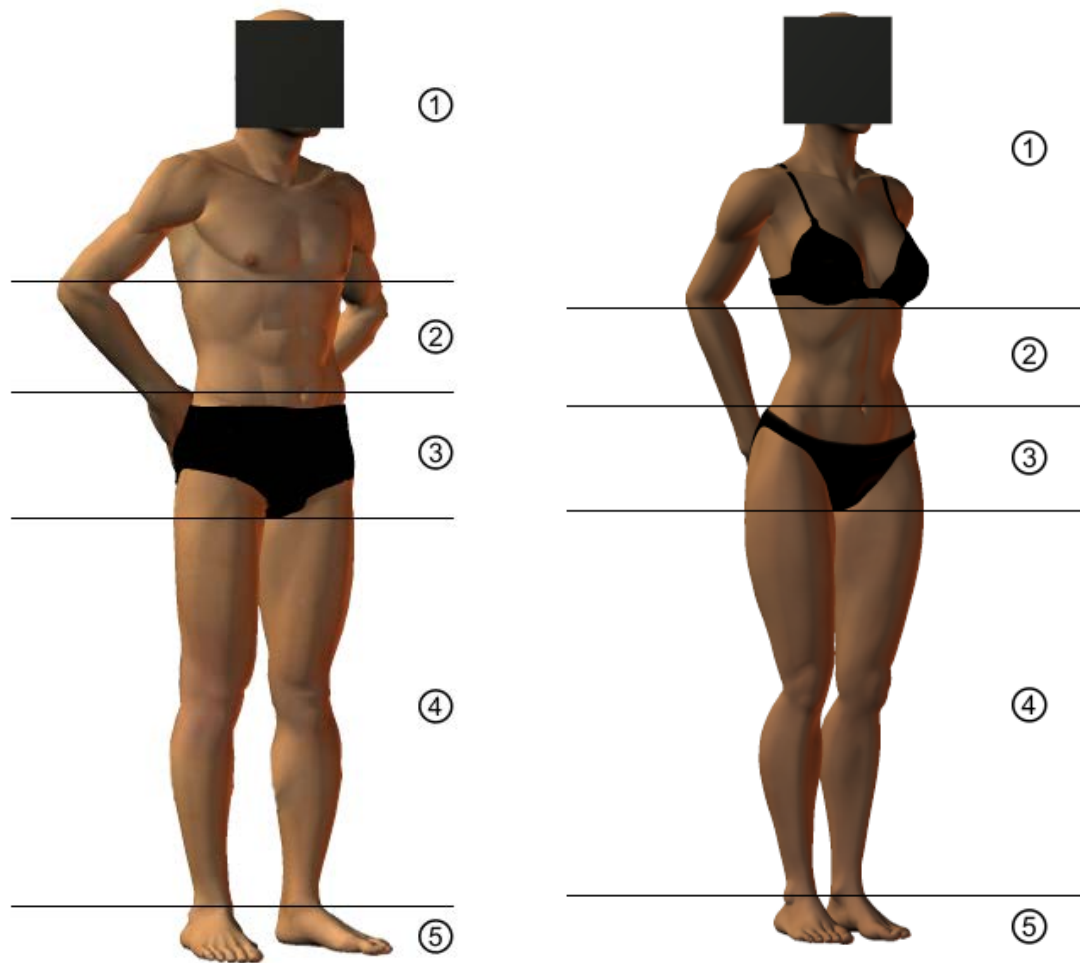
□ 手続き

- 刺激性別ごとにランダム提示
- 魅力度などを7件法で回答

3. 実験

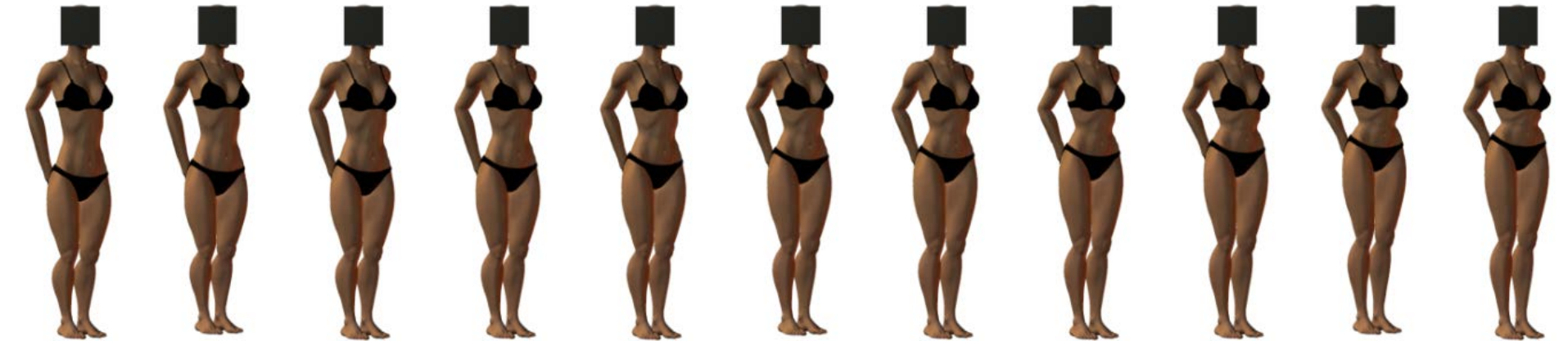
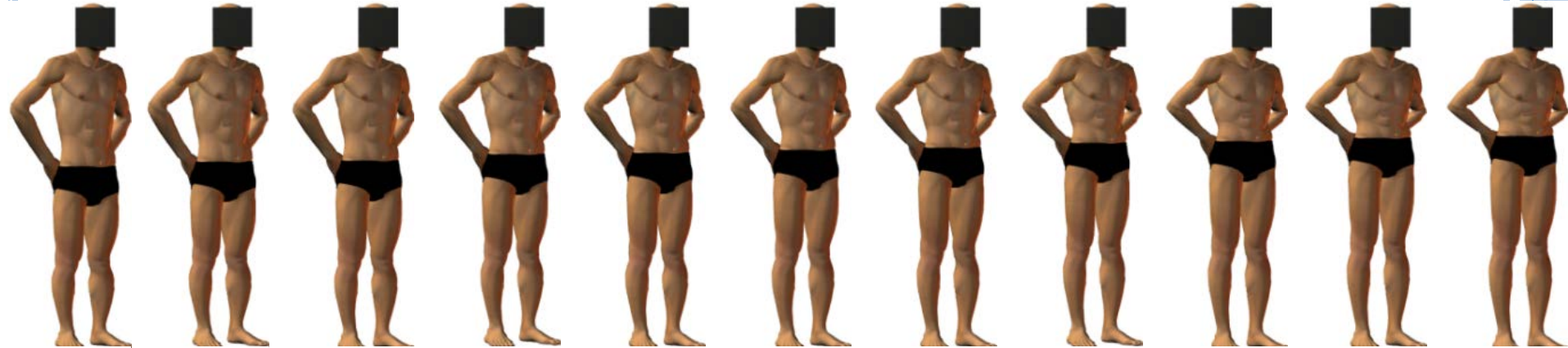
3-2. 刺激

- 4と2を編集
- 日本人平均
 - LBR.457
 - →100%
- 男女11刺激
 - 90～110%
 - 2%刻み



3. 実験

3-2. 刺激



.411 .420 .429 .439 .448 .457 .466 .475 .484 .493 .502
(LBR)

90 92 94 96 98 100 102 104 106 108 110
(%)

3. 実験

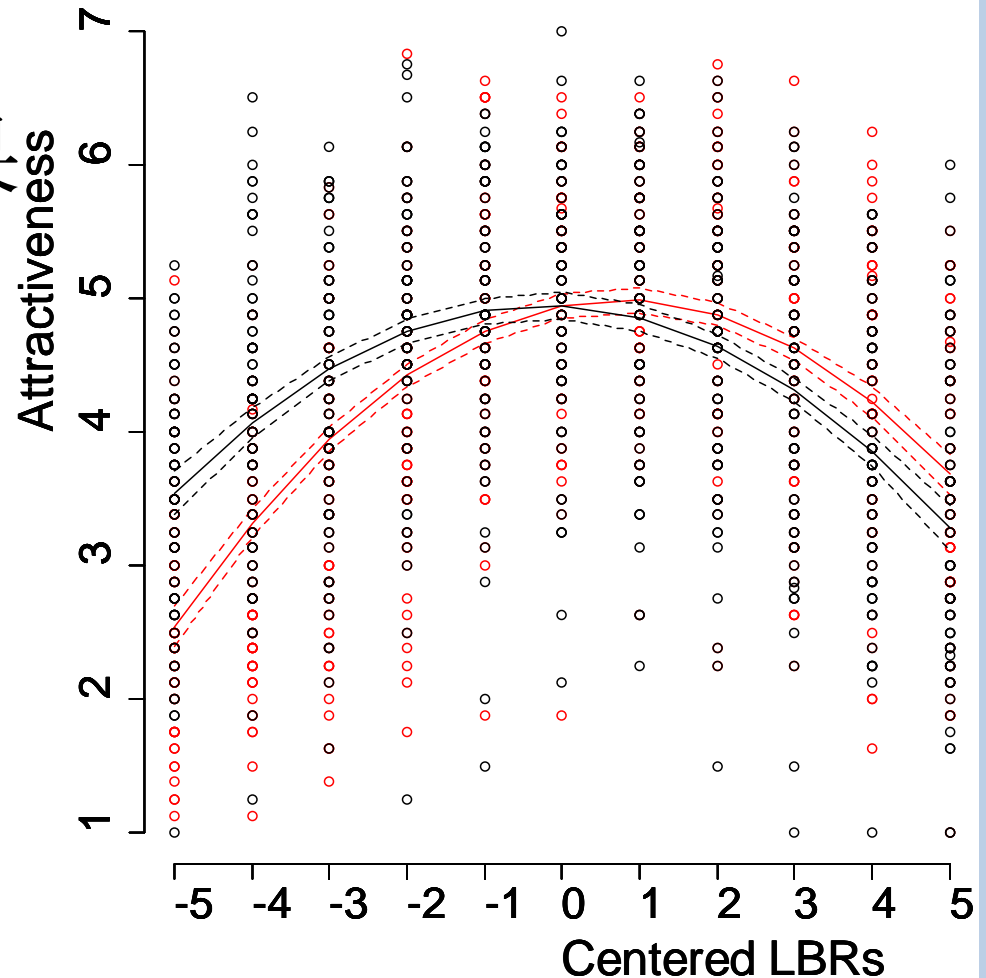
3-3. 分析

- 重回帰分析
- LBRは2次曲線を考える
- $Attractiveness = \beta_0$
 - + 刺激性別 * β_1
 - + $LBR * \beta_2$
 - + $LBR^2 * \beta_3$
 - + (刺激性別 \times LBR) * β_4
 - + (刺激性別 \times LBR^2) * β_5

3. 実験

重回帰分析の結果

□ $R^2 = .31$



□ 交互作用効果あり→男女刺激別に分析

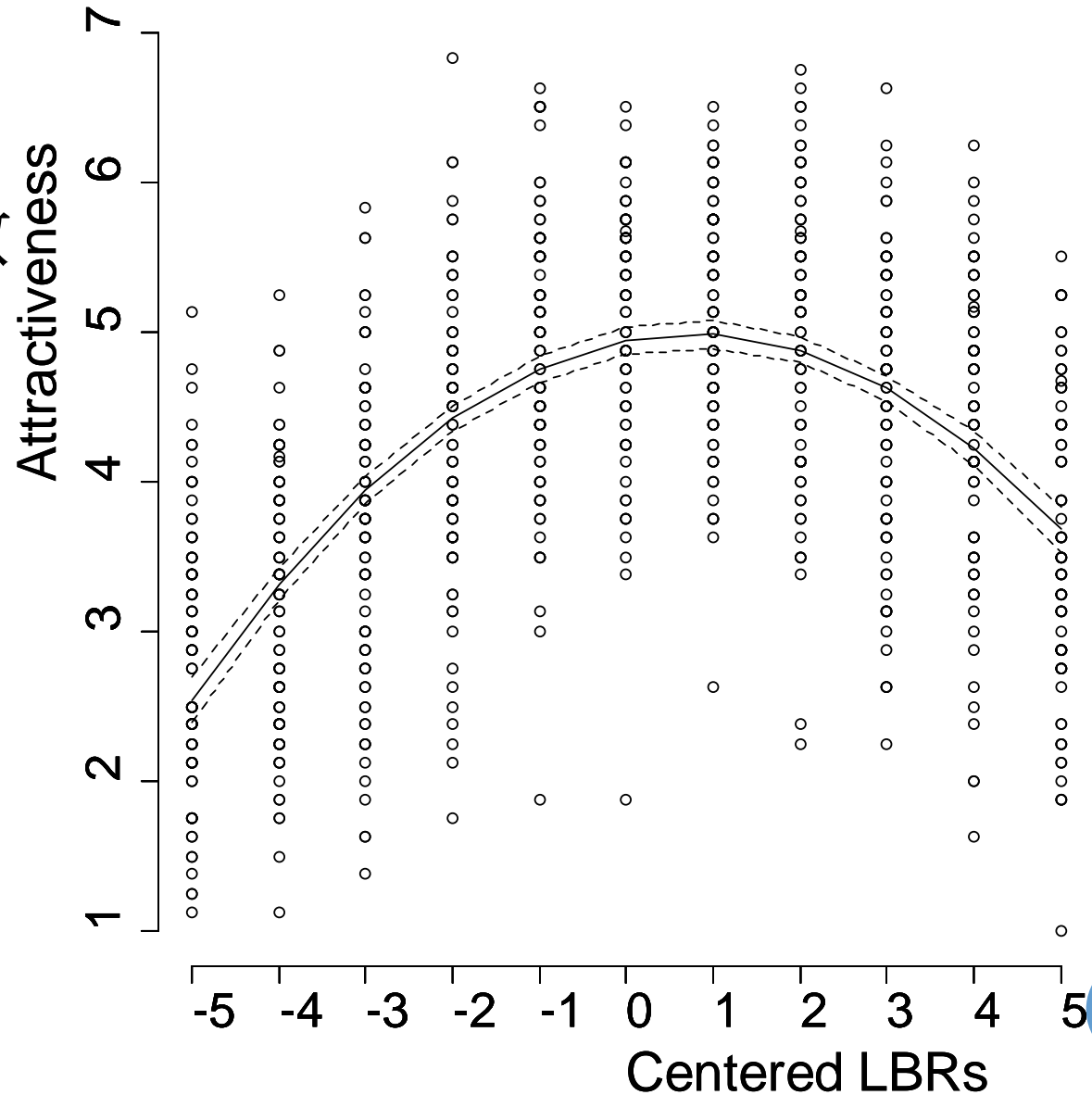
□ $Attractiveness = \beta_0 + LBR * \beta_1 + LBR^2 * \beta_2$

3. 実験

3-4. 結果

□ 女性刺激

□ $R^2 = .38$

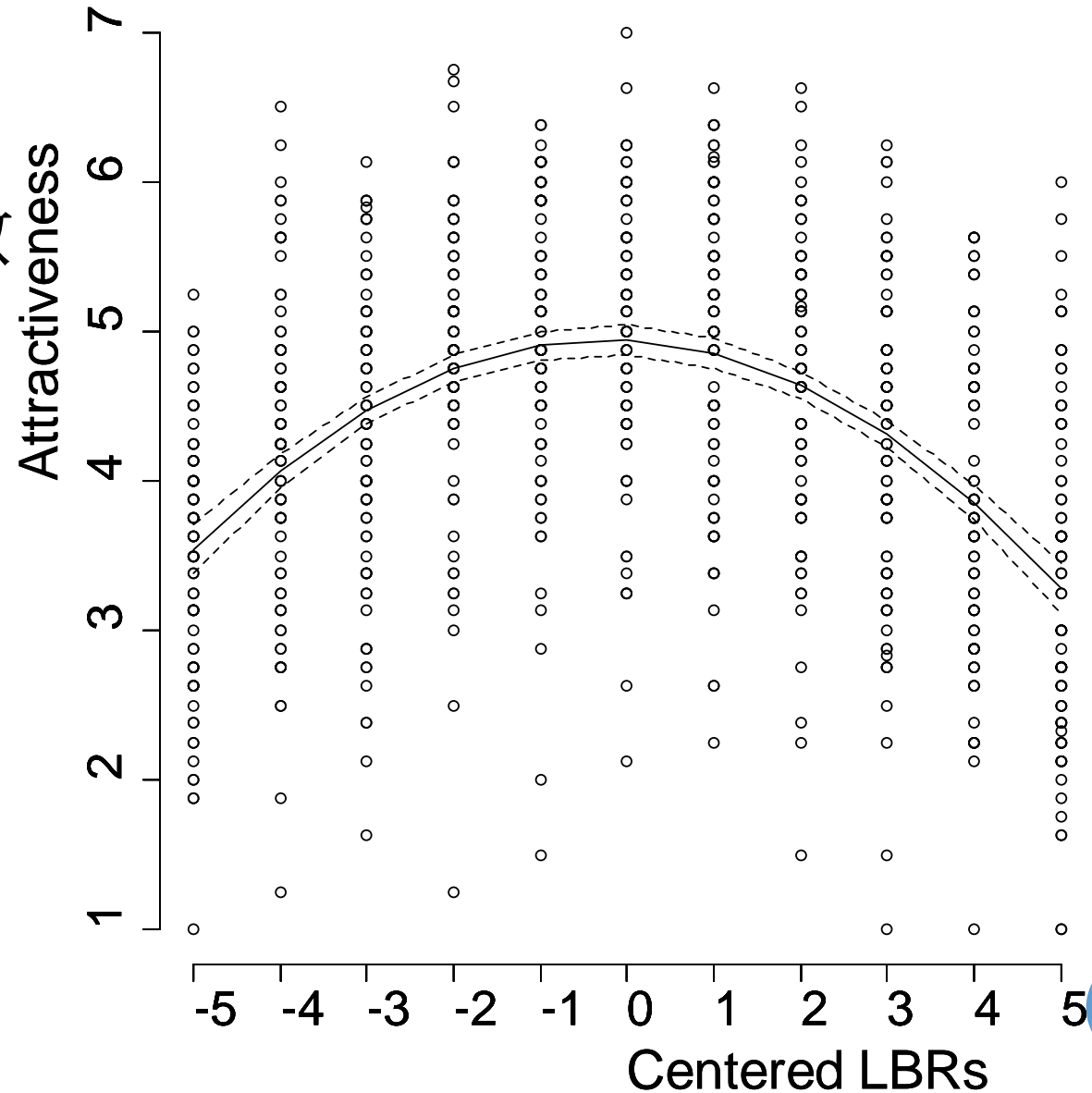


3. 実験

3-4. 結果

□ 男性刺激

□ $R^2 = .23$



3. 実験

3-5. 考察

- 男女ともに平均**LBR**を頂点とする逆U字型
 - 脚・胴の長さ共に重要であるため、どちらかが長すぎるとダメ
 - →平均が良い仮説支持
- 男性は女性に比べて低**LBR**で、女性は男性に比べて高**LBR**でより許容される。
 - 今後検討の余地あり。
 - 男性:低**LBR** (胴が長い) →筋肉が際立つ
 - 女性:高**LBR** (脚が長い) →高生殖能力

3. 実験

3-6. 問題点

- 今回も刺激依存の可能性あり
 - 但し, CGは刺激としては最高のはず
 - →CG以外の刺激で再検討するのではなく, LBRと共変する身体的特徴による影響を明らかにすべき

4. まとめ

- 逸脱したLBRではなく平均的なLBRが魅力的
 - 脚の長さも重要
 - 胴の長さも重要
- どちらかが逸脱するのは適応的でない

ご意見などございましたら、よろしければ、
喜入暁（ s.kiire0518@gmail.com ）
までお願い致します。